

離職が生む介護施設リスクの軽減策 今やるべきこと！

「定着率を上げるための秘策」

超高齢化社会がやってきました。5人に1人が65歳以上となり、現在もその割合は増え続けています。しかし、介護施設では、従業員が足りていません。専門スキルがいる職種であるにも関わらず、離職率が高く入職者の募集→育成→業務→離職といった繰り返しが私達を悩ませています。介護人材の定着率をあげるために、私達は何をすれば良いのでしょうか？

従業員の離職までの心理

仕事・プライベートで何かのきっかけがあった時、ふと疑問が沸く



- ①会社は自分をどう見ているのか？
- ②この会社に勤めていて自分の将来性はあるのか？
- ③自分にとって働きやすい環境作ってくれているのか？

一つ一つが退職理由に繋がる

定着率が高い介護施設が行っていること

安心して働ける職場環境と公平な規則づくり
大切にされていることを感じる職場づくり
経営者や管理者との意志疎通がある職場づくり
成長が感じられる職場づくり
従業員同士が気持良く働ける職場づくり

定着率が上がれば
急に人が辞めておこるドタバタも
無理な就業体制で他の従業員にかかる負担も
求人にかかる手間も経費もかかりません

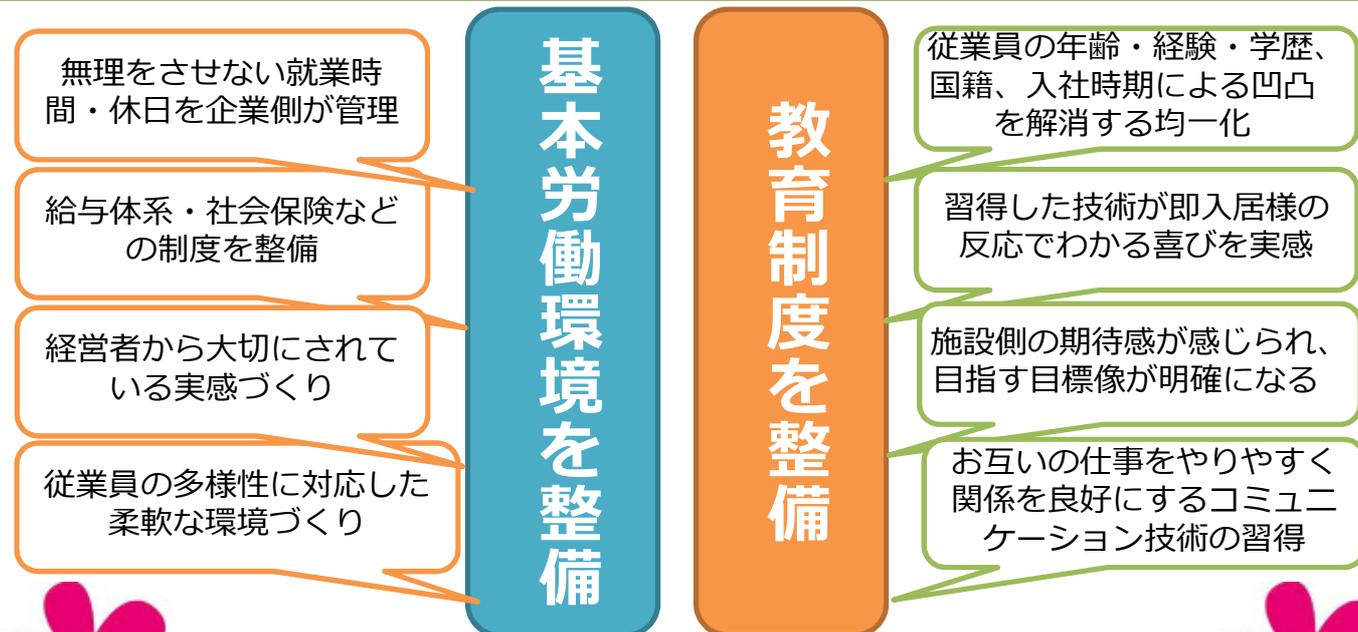
どうすれば、好循環をつくり出せる
職場ができるのでしょうか？



経営管理研究機構 株式会社マネジメントサポート
〒463-0071 名古屋市守山区新守町94番地

TEL 052 (796) 1685 FAX 052 (796) 3063 E-mail ms2663@zm.commufa.jp

離職を食い止め、定着率を上げる2つの柱はこれです！



上記の2本柱があっただけでこそ、離職を
食い止めることができます！

介護施設からよく寄せられる質問

Q 単発の研修をやっていますが、それではダメですか？

A 年間を通した計画的な研修が有効です。学んで終わりでは、技術の習得だけでなくモチベーションの向上にもつながりません。就業者の入れ替りの多い事業所では、研修を受けたことのない就業者も出てサービスの均一性は保たれません。

Q 内部の講師が研修を行なっています

A 普段一緒に仕事をしている者が研修の講師である場合、受講者の習得意識が弱まります。研修は利害関係のないプロが行うのが効果的です。介護サービスの向上を目指すには技術以外にも接遇やコミュニケーションスキルの習得も必要です。プロ講師が研修を行うことで総合的な介護人材が育成されます。

Q 教育制度だけで定着率は向上しますか？

A 教育制度を導入しただけで、年間離職者がゼロになった介護施設もありますが、離職の根底原因は従業員が会社から大切に扱ってもらっていないと感じていることにあります。基本労働環境の整備がされないままでは、本当の好循環は作り出せません。経営者のみなさんが変えようとする決意が大切です。

**経営者様の本気の取組みが介護競争を勝ち抜き
事業の経営安定をもたらします**

マネジメントサポートは豊富な介護人材育成のラインナップと
基本労働環境整備のお手伝いで経営者のみなさんの本気を応援します